

理念を語る

あたたかいおもてなしの「心」が想い満ちる一日を創ります。

当法人は設立より変わらぬ思いとして「共に歩む」の精神を礎に、「希望におきて感謝に眠る一日の幸」を応援しております。誰にでもいつかは訪れる「老い」に対して、切なさや侘しさではなく、笑顔をもって一日一日を共に過ごし、そしてその日にしか感じるこのできない幸せを、ご利用者様、ご家族様、そして職員の皆様とともに、共に歩みながら過ごしていければと願っています。

ご利用者様がいくつになられても、喜びや安らぎを持ち続けられる笑顔を大切に、心豊かに

にする食事の提供を大切にします。そして心地よい環境での癒やしの時間を大切にします。地域福祉の担い手として、地域に根ざしたご利用者本位のサービスを、職員一同皆で実践して参ります。

理事長
小松 瑞樹



平成会

ボランティアセンター LINE@始めました。

SNSツールのLINE@を活用した、ボランティアセンター。学生からシニアまでどなたでもボランティア登録できる、平成会が運営するボランティア活動支援プロジェクトです。登録者は、センターが情報提供するボランティアを必要とする事業・イベントにエントリーできます。

平成会の各施設でボランティアをやっていたただける方を募集しています。



学生の方でも一般の方でも大歓迎！こちらで最新のボランティア情報をお届けします。QRコードで登録してください。LINEをやっていない方も、この機会にアプリをインストールして登録してみたいかがでしょうか。



社会福祉法人 平成会

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6610 (代) FAX.0263-53-5828

ぜひ、ホームページをご覧ください。

<http://www.heisei-kai.jp/>



平成会

heiseikai
social good
action book

ソーシャルグッド アクション Book

人に、社会へ。

「共に歩む」ために、

平成会ができること、たくさんあります。

Social Good is Heiseikai Style.



社会福祉法人 平成会

介護福祉事業を通して 社会に 幸せを提供したい。

誰もが共生できる地域づくりのために何ができるのか。
平成会は常に考えています。



法人理念「共に歩む」の実践のため、
社会の課題や期待に対して
自発的に取り組むことが、
私たち平成会のスタイルです。



目次

介護は心

- action1 「思い」を実現する取り組み 03
- action2 「食べる」喜びを応援 05

地域と共に歩む

- action3 地域コミュニティ・企業との協働事業 07
- action4 「市民公開講座」「介護塾」 09
- action5 認知症啓発事業の実施 11
- action6 地域に「力」をもっと広がる「介護は心」 13

豊かな暮らしを高度ケアで支える

- action7 高度認知症ケアへの取り組み 15
- action8 シーティング技術導入の取り組み 17
- action9 食事介助の先端技術修得「口から食べる幸せ」... 19

介護人材育成で国際貢献

- action10 海外からの視察・研修・留学生の受け入れ 21

働きやすさと働きがいをサポート

- action11 働き方の多様性の追求「働き方改革」 23

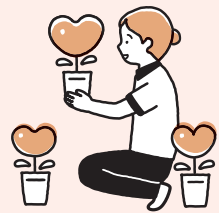
もっと介護のプロになる

- action12 平成会研修センター・平成会の研修体制 25
- action13 事例発表会・個々の専門技術のメディア掲載 27

- スタッフ座談会 29

- 施設・事業紹介 31

利用者様の思い・望みに寄り添うことが
関係する全ての人の幸せを生みだす力になります



「思い」を実現する取り組み

長きにわたる人生は人それぞれです。一日一日たくさんの思いをお持ちになりながら過ごされている利用者様。「今、思うこと」「思い出の場所」「会いたい人」「伝えたいこと」など。お一人お一人様から今の「思い」をお聞きし、望まれる思いの実現に向け、一緒させていただく取り組みは、利用者様とご家族、そしてスタッフが「思い」を共有できる大切な時間です。



①花形だった昔の職場を訪ねる。

「私は役所に勤めていた」と、日常口ぐせのように繰り返しお話しされるU様。20代の頃からご結婚後も長く、役所の事務の仕事をしてこられたとのことでした。

ご家族様からの情報でわかったU様が勤められていた場所は、現在は支所となっていました。そこは数十年ぶりに訪れた思い出の地。当時の資料を見ながら「懐かしい」と声を出し涙される姿が大変印象的でした。



普段見られないU様の感涙に、私たちも感動をいただいた一日でした。



②母親の味をもう一度。

「昔はよくおやきをつくったよ。子どもたちがみんな喜んだよ」。認知症をわずらうK様がくり返しくり返し話してくださるセリフです。決して裕福でなかった時代、3人のお子様は母親のK様がつくられる「おやき」を大変喜んだそうです。

K様と一緒におやきづくりにチャレンジ。もう何十年もつくることがなかったK様のおやきですが、生地とあんこを手にとると、手際よく調理され、当時の昔話と共に美味しい「おやき」ができた。



あがり、K様と一緒に喜びを共有することができました。

「食べる」喜びを応援

季節料理や郷土料理を大切に考え、管理栄養士が食材を厳選し、旬の素材を使ったワンランク上のお食事のご提供に取り組んでいます。また、器や盛り付けも美味しい食事にとって大切な要素であると考え、陶器や漆器の器に、美しく盛り付けられた献立づくりを実践しています。

毎日の幸せな笑顔をつくるのは、
美味しい食事と楽しい会話です



旬にこだわった季節の行事食や 趣向を凝らしたお誕生日会食など、 豊かな時間を創ります。

趣向を凝らした本格ディナーのクリスマス会食会やプロをお呼びしてのお抹茶会、シェフが会場で調理・給仕していただく誕生日会食や、ご家族もご招待し食事を楽しんでいただく家族会など、楽しい食事のひとつを過ごしていただくための企画づくりに努力を惜しみません。



また、春の山菜、お花見、夏の七夕、お祭り、秋の秋刀魚、きのこ、新そば、お餅つき、お正月など、四季の行事を彩る旬の食材を楽しむ食事企画もたくさん実施しています。

旬の本物の素材を楽しむため職員自ら、産地にたけのこ狩りに出かけたり、みなさんで秋刀魚焼きや焼き芋のイベントを楽しんだり、職人さんをお呼びしてマグロの解体ショーを行ったり、利用者様だけでなくスタッフも一緒になって楽しめる企画を大切にしています。



地域の活性化に
福祉のチカラが
必要な時代です



世代を超えて人と人がつながりあう地域共生
社会の実現を願う平成会は、福祉を通しさまざま
な場面で地域に積極的に参加し、地域の「笑顔」
と「勇気」を創ります。



地域コミュニティ・企業との協働事業

●地域企業とのタイアップでの介護用品開発 (箕輪町・わかな)

2017年、箕輪町の介護老人保健施設わかなは、箕輪町のものづくり系の中小企業の集まり「ものづくり交流プラザ」からの協力依頼で、『介護現場で困っている課題解決のための商品開発プロジェクト』に参加させていただくことに。ミーティングを繰り返し、多くの悩みや課題を抽出し、実際の商品開発プロセスにも協働で取り組みました。一般販売には至っていませんが、実際に開発された商品も複数あります。



●地域文化の活性化・シルク創作活動 (岡谷市・さわらび)

岡谷市の介護老人福祉施設さわらびでは、シルクの街岡谷に立地していることもあり、施設内のスタッフと利用者様が繭玉を使ったシルククラフトづくりを長年続けています。シルククラフト展では2018年、2019年と2年連続でグランプリを受賞。初の福祉施設の受賞で話題となりました。また、毎年行われる「シルクフェアinおかや」の会場で『さわらびクラフト』として出展。クラフトの販売と体験ワークショップで地元の皆様から好評をいただいています。シルククラフトづくりを通して地域の皆様と交流が広がっています。



●地元のみなさんとのタイアップでの直売所運営 (岡谷市・松風)

岡谷市の介護老人福祉施設松風の設立コンセプトの一つが「地域に開かれた施設」。地域交流の場として活用されている売店スペースを利用して月に1回、地元の農家さんやメーカーさんのご協力で、「松風・ふるさと直売所」をオープン。入居者様はもちろん、ご近所の皆様から喜ばれています。



●応急手当普及員講習の受講

消防署で行う応急手当普及員講習の受講に積極的に参加。応急手当普及員の資格を取得することで、自身が働く事業所のスタッフに対して普通救命講習を行うことができる指導者として活躍しています。



●被災地復興支援

2011年の東日本大震災の発生直後より、要介護者の施設受け入れ、避難所や福祉施設への職員派遣など、専門職だからできる社会貢献活動に取り組んでいます。



2019年の台風19号被害に対する義援金を県庁に届ける

常に最先端の技術を
発信し続けることは
平成会の使命です



介護で悩まれている方は施設にいらっしゃる方に限ったことではありません。地域の中でも多くの方が専門の技術を必要としています。こうした地域のニーズは平成会の課題でもあります。

平成会だから できることがたくさんあります

●毎年、福祉と社会課題に関わるテーマで 「市民公開講座」を開催

介護技術は日々進化しています。利用者様の人生に関わらせていただく仕事として私たち専門職は、常に学び最新の技術を取り入れるべく努力をします。



●家庭介護者支援事業 「介護塾」の取り組み

コッを知りプロに近づく一般市民向けの介護技術講座として「介護塾」を開催。ご自宅で介護されている一般の援助者を中心に、無料の介護講座を全9回実施しました。介護の悩み相談・高齢者の歯磨き・認知症の理解・腰痛予防など、家庭で介護をされている方にとって大切な知識や技術を、平成会で活躍する現場のプロが丁寧に指導させていただきました。参加者の皆様からは、「ためになった」「気持ち少し楽になった」と好評意見をいただきました。平成会の人的資源を有効に地域に還元することが目的の「介護塾」ですが、実際に家庭で困っているニーズを直接お聞きできる貴重な機会にもなりました。



大きな
社会課題である
認知症と向き合う



今後ますます高齢化が進む社会において、認知症の人に対する正しい理解と接し方は、地域で共有すべき大切な課題の一つです。認知症の方が安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、平成会ではスタッフの専門性を生かした地域貢献活動として、認知症啓発事業に取り組んでいます。

認知症啓発事業の実施

●認知症サポーター養成プロジェクト

認知症について一定の研修を受講した人が「認知症サポーター」となります。厚生労働省が策定する新オレンジプラン（認知症施策）のなかで、平成会は2016年（平成28年）に認知症サポーター養成プロジェクトを設立。

これまで、養成講座の講師として認定されたキャラバンメイトといわれる職員が、地域の企業や団体、学校などをまわり講座を実施。これまでに4,000人を超えるサポーターを養成してきました。



4,000人

●地域認知症支援事業 「認知症カフェ」開催 （辰野町・福寿苑、箕輪町・わかな）

認知症のご家族をお持ちの皆様が、定期的に集まって体験談や相談を交わすコミュニケーションスペース「認知症カフェ」を開催しています。日々の悩みの解消や苦勞を共有・共感できる場として、また、歯科衛生士や行政書士等の専門家の方のお話を聞いたり、音楽を楽しんだり、時には本格的なお抹茶を楽しんだり、参加される皆様の憩いの時間となっています。



充実した雇用と
ネットワークは、
地域活性化の
エネルギーです

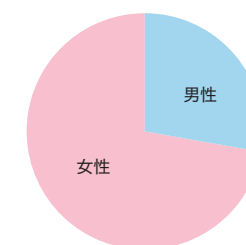


地域にお住まいのご高齢の方や何らかの障害を持つ方を、地域全体で支え合う地域共生社会の実現にとって、福祉・介護のプロの存在は重要です。「介護は心」を実践する仲間の輪を広げることが平成会の目標です。

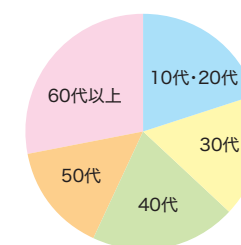
地域に「力」を。 もっと広がる「介護は心」

「介護は心」をモットーに1999年（平成11年）の法人設立以来、地域社会の要請・期待に応えてきました。利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔が私たちの力となります。

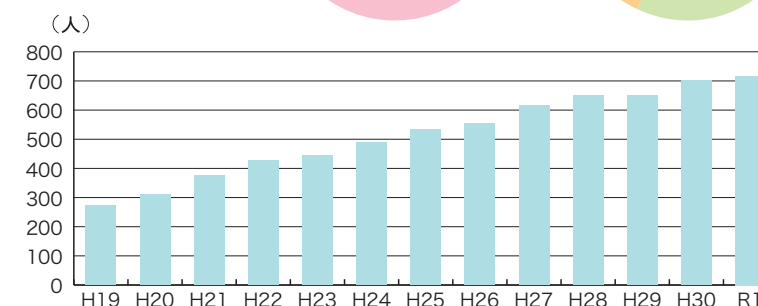
●職員男女比
（R1.12月現在）



●職員世代構成
（R1.12月現在）



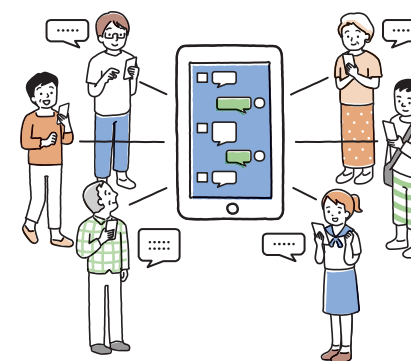
●職員数推移



平成会ボランティア 情報センター

SNSツールのLINE@を活用した、ボランティア登録事業をスタートしました。学生からシニアまでどなたでもボランティア登録できる平成会のボランティア活動支援プロジェクトです。登録者は、センターから情報提供される、ボランティアが必要な平成会各施設のイベントや季節の行事にエントリーし、ボランティアとして参加することができます。

地域の学生から高齢者の方まで幅広い世代に向け、ボランティア活動に関するさまざまな情報を発信することで福祉への参加の場を提供していきます。福祉のボランティアは、参加される皆様の心や暮らしを豊かにしてくれる体験になると考えています。



※ボランティア登録についてはパンフレット裏表紙をご覧ください。

介護の現場に
幸せな変革を提案

高度認知症ケアへの取り組み

「学びやすく、効果が高い」とされ、注目を集めているのが、フランス生まれで、40年の実績を持つ認知症ケアメソッド「ユマニチュード」。知覚と感情と言語による包括的なコミュニケーション技術を実践することで、常に「私はあなたのことを大切に思っています」というメッセージを発信し続けることの重要性を教えてください。これは、まさに平成会の「介護は心」に通じるものです。

平成会は「ユマニチュード」のメソッドと哲学に共感し、研修の実施を法人として推進しています。また、平成会スタッフ以外の一般の医療・福祉に携わる皆様にも本研修を推奨し、地域全体への高度認知症ケアの普及に取り組んでいます。

humanitude



※HUMANITUDEおよびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本およびその他の国における仏国SAS Humanitude社の商標または登録商標です。





介護の現場には
もっと先進技術が必要

シーティング技術導入の取り組み

介護現場でのケアにおいて、車いすやベッド上で見られる座り方の乱れの原因を把握し、取り除くことはとても重要です。平成会では、視覚的に数値分析ができる体圧測定器によるシーティング技術を導入し、「座る姿勢」の改善を図り、痛みのない座り姿勢を保つことで利用者様の快適な生活を支援しています。

体圧をビジュアル化・数値化することで、痛みの原因などもより具体的に利用者様やご家族様と共通認識をもつことが可能になり、円滑なコミュニケーションづくりの一翼を担う技術でもあります。

また、スタッフ全員で利用者様の体圧情報を共有でき、ケアの質の向上にもつながります。

正確な体圧測定の結果をもとに車いすのサイズやクッションの選択を変更したことで、座り続けられる時間が増えて、自力で食事ができる時間が長くなるという改善事例もあります。このように、平成会が大切にしている、利用者様に寄り添ったケアと食べる喜びの提供実現にとって、体圧測定器によるシーティング技術は不可欠なアイテムとなっています。



食事介助の先端技術修得で 「口から食べる幸せ」を追求

食べることは、私たちが最期の瞬間まで感じることができる幸せだと言われます。ところが、複合した合併症を有する摂食嚥下障害をもつ要介護高齢者が多くなり、口から食事を摂ることが難しくなってしまうケースが増加。食事ケア技術の向上が必要不可欠になっています。

そうした摂食嚥下障害の方でも、声のかけ方、座り方、食器の使い方などの食事介助の技術によって、口から食事を摂ることができるようになります。平成会では、外部講師の技術協力により、高機能スプーンの使用など科学的根拠に裏付けされた最先端の食事介助技術の研修を実施し、

「食」のサポートの質向上に取り組んでいます。人の生命や生活に関わらせていただく以上、常に最新の技術を備えることは、私たちの使命であり、ケア従事者としての誇りでもあります。



「NPO 法人 口から食べる幸せを守る会」理事長 小山珠美さん



食事介助をサポートする
「高機能スプーン」



食事介助技術の進歩が
介護の進歩



世界に広がる
平成会の介護



海外からの視察・研修の受け入れ 海外の介護人材育成のための 留学生の受け入れ

※2019年度までの実績より



日本が誇る技術は、電化製品や自動車ばかりではありません。世界トップクラスの超高齢化社会を支えている日本の介護技術は、実はとても質が高いのです。

中国でもすでに少子高齢化が進み、圧倒的な人口ボーナス期を迎えているアジア各国もいずれ高齢化が進むと言われています。そんな中、日本の先進的な介護技術、マインド、福祉用具などが非常に注目されています。平成会の介護が、そんな海外の介護関係者の目に留まり、視察や研修希望が後を絶ちません。

また、介護人材の確保からもアジア各国との連携を深めています。フィリピン人、インドネシア人看護師を留学生として受け入れ、令和2年4月には2名の介護士が誕生しました。他にもミャンマー人技能実習生、フィリピンからの特定技能外国人の

受け入れを進めています。

日本の介護を海外に伝えること、そして外国人の育成と登用が私たちの国際貢献です。



留学生対象の講習会

仕事と豊かなライフスタイルが
両立した人生の送り方



介護老人福祉施設 松風での 先駆的取り組み

- ・同待遇で「週休3日制」を選べる
- ・就業時間以外を利用した「副業の自由」
- ・急な休みが必要などきの
「お互いさまシフト体制」

暮らしの多様性と働き方の多様性の追求 平成会の目指す 「働き方改革」

「仕事」と「趣味などの豊かなライフスタイル」を両立させた素敵な人生。働き方改革により今、生活が大きく変わろうとしています。

平成会は仕事と家庭生活との調和がとれた、ワークライフバランス(※)の実現のために取り組めることを積極的に実行に移しています。

(※) 男性も女性も個人がそれぞれの能力を発揮して責任分担して生き生き暮らしていこう、仕事と育児・介護・地域や趣味といった仕事以外の活動を自分なりに両立させて楽しみながら生活できるようにしようという考え方。



趣味の太鼓チームメンバーとして、イベントなどで活躍するスタッフ



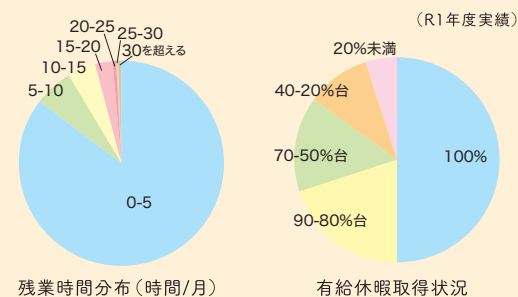
大好きな松本山雅 FC の応援が、くらしのエネルギー源というスタッフ

● 定時退勤を推奨

平成会では、健康で生き生きとしたスタッフの暮らし実現のため、業務や人員シフトの効率化を推進し、残業のない職場を目指しています。

● 有給休暇100%取得を目指しています

健康的で笑顔のあふれた職場環境づくりにとって大切な休暇・休養。平成会ではスタッフの年間有給休暇消化100%を目指し、人員シフトや働き方の改善・意識改革等に取り組んでいます。



● 長く活躍していただける職場を目指す

定年過ぎの第二の仕事として介護を目指されるシニア世代の方が増えています。平成会では定年過ぎでも長く勤務できるばかりでなく、初めて介護の仕事に挑戦される方には「資格取得支援制度」などで充実のシルバーライフ＆ワークを応援します。

● 互助会・福利厚生事業の充実

育児休暇100%取得、忘年会、スポーツ大会、社員旅行など、スタッフに寄り添った働きがいのある職場環境づくりを大切にしています。



スポーツ大会

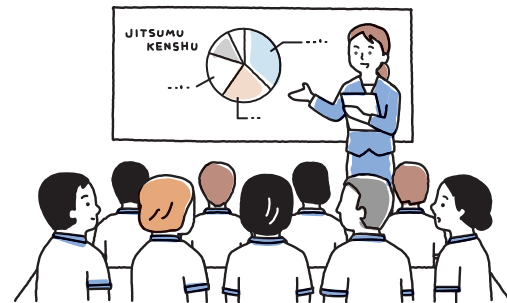
平成会研修センターでステップアップし 多くの方が地域で活躍しています

●資格取得の支援

平成会研修センターでは、介護の専門資格として制度化された「喀痰吸引等研修」を定期的に行っています（法人職員は助成制度により受講料は無料）。これまでに多くの修了者を地域に送り出し、その数は法人内外で332名（令和2年3月末現在）に上っています。

喀痰吸引等研修
修了者

332人



同様に、「介護職員初任者研修」についても、介護を学ぶための環境がすべて整った充実の研修体制で支援します。こちらも法人職員は受講料無料です。

働きながら受講料無料で
福祉の資格を取得できます。

●働きながらのキャリアアップ一例

介護の入門資格！

業務範囲が広がる資格！

介護の国家資格！

介護職員初任者研修

実務者研修

介護福祉士

初めて介護を学ぶ方が取得しておくべき基本の資格。実務経験がなくても、どんなでも受講可能です。

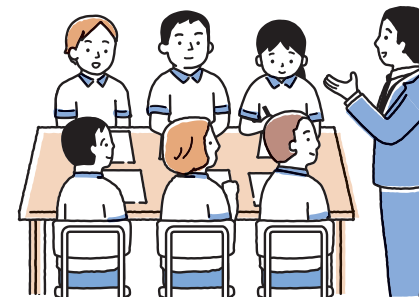
介護福祉士につながる研修。基礎研修の修了者など、段階別の受講が可能です。

福祉の国家資格の一つ。2016年度以降は、実務経験3年以上に加えて実務者研修（450時間）の受講が必須。

介護職員初任者研修

実務者研修

職員は受講料 **無料**！



将来を見据えた
プロフェッショナルへの道を開く
県内随一の研修体制が強み

平成会には、各種資格取得や技術習得を目指す人を応援するための組織「平成会研修センター」があります。介護の入門資格「介護職員初任者研修」はもちろん、働きながら介護福祉士を目指す方のため「介護福祉士実務者研修」「喀痰吸引等研修」等は、職員は受講料金無料で受講できます。

個の多様性に配慮した上で、それぞれが自分自身の将来像を描くことができるキャリアパス制度づくりにも積極的に取り組んでいます。

●育成・研修制度

●プリセプター制度

日々直面する「こんな時どうする？」の数々。迷うこと、心配なこと、わからないこと、その悩みの解決に向け、先輩が導きます。

●フォローアップ研修

3か月・6か月・1年・2年・3年と、業務の振り返りを

行うことで、積み重ねた経験によって培った自身の成長を実感します。

●自由参加型研修

「もっと介護を知りたい」の気持ちに応え、参加したい人が興味のある研修に、自由に参加できる研修会を通年で行っています。



自由参加型研修の様子

●関連学校法人『信州介護福祉専門学校』で学びを応援

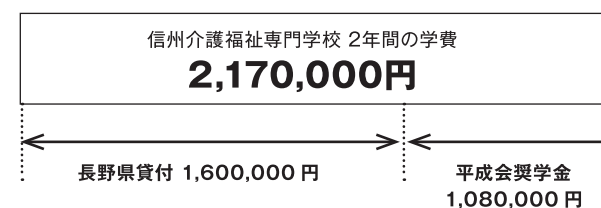
「長野県の修学資金貸与制度」と「平成会の奨学金制度」で2年間の学費負担0円！

①長野県介護福祉士修学資金貸付事業（約2年間で総額1,600,000円貸付）

★卒業後、長野県内で介護福祉士として5年間従事した場合は、全額返還免除！

②社会福祉法人 平成会奨学金制度（介護福祉士の国家資格取得後、働く意思がある人を対象とした奨学金制度）

★卒業後、3年間勤務した場合は、全額返還免除！



学費負担
= **0円**

※入学時の学費はいったん振込が必要です。
※別途、教科書代、実習着代等がかかります。
（令和2年3月現在）

ひとつの気づきで 「介護」は大きく進化します

●全施設・事業所参加の 事例発表会を開催

1年間の各施設・事業所の取り組みの成果を披露する事例発表は平成会の一大イベントです。普段はなかなか知ることのできない他施設の取り組みに触れることのできる充実の1日です。この日の発表を励みに、日々の業務に励むスタッフも増えています。



法人内ばかりでなく全国さまざまな大会でも先進的な取り組みを発信し続けています。

●培った専門技術や知識をメディアで発表

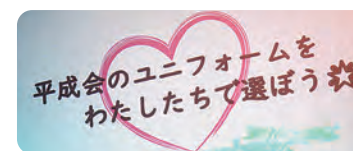
諏訪市・岡谷市・下諏訪町・富士見町・辰野町等長野県の上伊那・諏訪地域で発行されている「長野日報の特別枠」で平成会スタッフによるコラムを掲載。市民の皆様の参考になるような、培ってきた専門技術や知識を定期的に1名ずつ新聞メディアで発表しています。



自分たちで選んで、2020年度から採用されたユニフォームです。



●毎年の事例発表会は「発信の場」でもあります



自分たちのユニフォームは自分たちで選ぶ！

令和初となった第9回の事例発表会では、新調するユニフォームの「ファッションショーとユニフォーム人気投票」の特別企画も開催。



一人ではできなくても 仲間と一緒にだからできることがたくさんあります。

第二の人生として福祉の仕事を選んだ60代から、福祉の仕事1年生まで、いろいろな経験や人生を歩んできた5人の平成会スタッフに集ってもらい、それぞれの思いを語り合ってもらいました。(2019年4月10日実施)

スタッフ座談会



矢島 稜 梧さん（介護老人保健施設 掬水勤務、2019年4月に入社の当時1年目）



下澤 美咲さん（介護老人保健施設 わかな勤務、当時6年目）

一福祉の仕事を選んだきっかけは？

矢島（英） 60歳の定年までは金融機関に勤めていた私ですが、15年間の父と母の介護経験もあり、第二の人生では社会に貢献したいと思い福祉の世界に飛び込みました。

濱 私らは小学生の頃から福祉に興味があり、人と関わる仕事を目指し福祉系の大学に進学。地域に根ざした医療・福祉を学ぶ中で、相談員として福祉の現場で働きたいと思いました。

下澤 もともと看護師を目指していましたが「介護も看護も志は一緒なんだ」と思い、介護の専門学校に進んだのがきっかけです。

中村 子育てが終わりパートを始めましたが長続きせず、何か資格を取って再スタートと思っていたとき、父の病気が

重なったこともありヘルパーの資格を取得。父は他界してしまいましたが、福祉の仕事は続けようと思いました。

矢島（稜） 中学生時代、ボランティアで福祉施設に行ったとき、利用者様と関わる楽しさや、職員の方から介護という仕事の素晴らしさをいろいろ教えてもらったことがきっかけです。

一やりがいて何ですか？

中村 相談員として担当させていただく利用者様が、訪問サービスや通所リハビリ等で元気になっていく姿を見るのが一番のやりがいです。

濱 平成会のコンセプトでもある“笑顔”を毎日みられることが、長く続けてこれたやりがいです。今在籍している養護老人ホームでは、最期を迎えられる方も多く、その方の最期と一緒に迎えられるということは何より尊いことで、誇りを持って仕事だと感じています。

下澤 濱さんが言われたように、家族ではない利用者様の最期に携わることは、とても貴い経験です。感謝の気持ちでいっぱいになります。

矢島（英） 利用者様からいただくありがとうなど、感謝の言葉が何よりのやりがいです。前職の金融機関の営業経験で培った、会話の中からその人の思いや希望を見出すスキルが利用者様とのコミュニケーションに役立っています。

矢島（稜） 先輩方の話を聞いて、自分も日々の利用者様との関わりを大切にしたいと感じています。

一平成会の理念「共に歩む」について実践はできていますか？

下澤 協調性を大切にしています。仕事が大変なときでも、一緒にがんばれる



仲間がいるからこそ乗り越えられると思います。利用者様に対しても協調性があれば、個々に合わせたケアができますし、ぴったり寄り添う思いも自然と伝わると思います。

中村 “真心”という言葉が一番に据えて仕事をしています。真心は“真の心”、うわべだけの軽い気持ちで接しても、利用者様は応えてくれないものです。本当に親身になって対応することでちゃんと笑顔になっていただけます。



中村 泰子さん（介護老人保健施設 わかな勤務、相談員、当時11年目、会社員から介護職へ）

濱 心がないと、利用者様に何も伝わらないし、職員同士でも同じだと思います。「介護は心」という言葉は、会議や研修でも常にキーワード、今では自然と自分の中に溶け込んでいます。

矢島（英） 相手の気持ちになって、利用者様がどんなことを考えているのか、こういった発言をした時にどう感じるのか、とことん相手の思いやって行動することが大切なんだと思います。

矢島（稜） 研修で「介護は心」を学びました。今、実際に話を聞かせてもらい、すごく共感する部分が多くありました。介護技術が高だけでは、利用者様の生活の支援はできないんだということを強く感じています。

一福祉の仕事に携わって、自分の生き方や人生に影響がありましたか？

矢島（英） 今はもっと知識を習得するために勉強しなきゃいけないなとつくづく思っています。だから私にはまだ難しいテーマですね。でも、金融機関より精

神面のストレスはないですよ。

濱 16年間に2人の子どもを出産し、そのつど産休を取らせていただき復帰しています。産休後も自分の居場所がある職場に感謝です。子どもたちは小さいときから職場に遊びに来て利用者様と一緒に過ごさせていただいたり、いろいろな「ご縁を大切に」充実した仕事と私生活を送れています。

中村 相談員の仕事で、病院や施設、学校などさまざまな場所で交流が生まれました。知り合うことができた多くの方から「わかなの中村さん」と声をかけていただけることはありがたいことですし、この仕事の素敵な醍醐味です。

矢島（稜） 私もたくさんの人と会えることがうれしいですし、関われることに感謝しなければいけないと思います。

矢島（英） 私もそう思います。会社で営業をしていたときより、今の方が人との接点が多い気がします。

一平成会の研修制度についての感想は？

下澤 新しい気づきと発見があった口腔ケア研修が印象に残っています。また、職場で毎食後の口腔ケアを取り入れたことで感染症の抑制につながっていますし、研修の大切さと、その実践の重要性を実感しています。

中村 著名なプロの先生に来ていただける研修に、気軽に参加できることに感動です。外部研修にいかなくても重要な研修が法人内で受けられるのは個々のスキルアップにとって大変うれしいことです。

矢島（英） まだ2年目、初任者研修でやっと介護の入り口部分がわかったよう



矢島 英雄さん（茅野市養護老人ホーム 寿和寮勤務、当時3年目、会社員定年後の再就職）



濱江 里佳さん（茅野市養護老人ホーム 寿和寮事務局長相談員、当時16年目、資格：社会福祉士・介護福祉士・ケアマネ）

な感じです。職員は研修の受講料がかからないので助かります。

一平成会の職場環境はどうですか？

下澤 看護と介護の分け隔てなく仲がいいです。仲がいいから円滑に業務を遂行できると思うし、仲がいいから居心地がよく、仕事を楽しいと思えます。利用者様の居心地を考えると職場の環境はすごく大事だと感じています。

それに、正社員が産休明けに子育てを両立しながらパートとして復帰するケースが多い。パートさんも産休・育休からちゃんと戻ってきます。平成会とはにかくパートが働きやすい環境が整っています。パートの人が充実しているので急な休みも取りやすい職場環境なんです。自分も結婚して子どもができれば、パートで戻ってきたいと思います。

職場の雰囲気がいいから働きやすい！とにかく産休・育休 取りやすい！

共に歩む 約700人の仲間が 長野県内で活躍しています。

一緒に悩み、一緒に学び、そして一緒に喜ぶ。
地域社会と共に、少しずつ成長を続ける平成会です。



長野県内に23拠点

社会福祉法人平成会は塩尻市、松本市、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、茅野市、辰野町、箕輪町に介護福祉施設、ケアハウス、グループホーム等を運営。施設は23拠点、55の介護保険サービス、職員総数は約700名です。



■介護老人福祉施設

- 介護老人福祉施設 さわらび（岡谷市）
〒394-0001 岡谷市西山1723-101
TEL.0266-21-1180
- 介護老人福祉施設 松風（岡谷市）
〒394-0055 岡谷市内山4769-548
TEL.0266-21-2200
- 介護老人福祉施設 福寿苑（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
大字伊那富9501-1
TEL.0266-43-3200

■介護老人保健施設

- 介護老人保健施設 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 介護老人保健施設 わかな（箕輪町）
〒399-4602 上伊那郡箕輪町
大字東箕輪北田3296-1
TEL.0265-70-1818

■有料老人ホーム

- 有料老人ホーム せせらぎ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6222

■ケアハウス

- ケアハウス なごみ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1310-3
TEL.0263-51-5600
- ケアハウス なごみ松本（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
TEL.0263-85-0101

■養護老人ホーム

- 養護老人ホーム 岡谷和楽荘（岡谷市）
〒394-0000 岡谷市2916-4
TEL.0266-22-4057
- 茅野市養護老人ホーム 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610

■小規模多機能型居宅介護

- 小規模多機能型居宅介護事業所
となりの縁側 おかだ（松本市）
〒390-0313 松本市岡田下岡田85-1
TEL.0263-50-8100

■グループホーム

- グループホーム さとび（塩尻市）
〒399-0711 塩尻市片丘道下11146
TEL.0263-51-6310

- グループホーム なごみ（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
しのめ TEL.0263-85-0775
あかね TEL.0263-85-5171
- グループホーム おかだ（松本市）
〒390-0313 松本市岡田下岡田84-1
TEL.0263-31-0663
- グループホーム さわらび（岡谷市）
〒394-0001 岡谷市西山1723-101
TEL.0266-21-1113
- グループホーム 風薫（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-33
TEL.0266-21-1211
- グループホーム 縁（下諏訪町）
〒393-0000 諏訪郡下諏訪町社
字五反田7618-1
TEL.0266-26-0170
- グループホーム わかな（箕輪町）
〒399-4602 上伊那郡箕輪町
大字東箕輪北田3296-1
TEL.0265-70-8880
- グループホーム 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1622
- グループホーム 歩歩清風（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
伊那富字大原9704-1
TEL.0266-43-2265

■居宅介護支援

- 居宅介護支援事業所 湯けむり（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-8
TEL.0266-24-2006
- 居宅介護支援事業所 せせらぎ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6222
- 居宅介護支援事業所 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610
- 居宅介護支援事業所 なごみ松本（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
TEL.0263-85-0266
- 居宅介護支援事業所 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 居宅介護支援事業所 福寿苑（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
大字伊那富9501-1
TEL.0266-43-3201

■通所・訪問サービス

- 通所介護事業所 無暦日庵（塩尻市）
〒399-0711 塩尻市片丘道下11146
TEL.0263-51-6800
- 温泉デイサービス 湯けむり（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-8
TEL.0266-24-2006
- 認知症対応型デイサービスセンター
なごみ（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
TEL.0263-85-0118
- 身体障害者デイサービス事業 和楽（岡谷市）
〒394-0000 岡谷市2916-4
TEL.0266-22-4057
- デイサービスセンター さわらび（岡谷市）
〒394-0001 岡谷市西山1723-101
TEL.0266-21-1180
- 介護老人保健施設 掬水
【通所リハビリテーション】（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 介護老人保健施設 わかな
【通所リハビリテーション】（箕輪町）
〒399-4602 上伊那郡箕輪町
大字東箕輪北田3296-1
TEL.0265-70-1818
- 訪問リハビリテーション 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 定期巡回随時対応型事業所 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610

■相談支援事業

- 特定相談支援事業・障害児相談支援事業
いほく相談支援事業所（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
大字伊那富9501-1
TEL.0266-43-3208

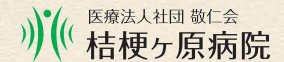
■介護予防事業

- トレーニングセンター 湯けむり（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-8
TEL.0266-22-1123

■介護人材育成事業

- 長野県登録研修機関
平成会研修センター（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-53-1151

■関連法人



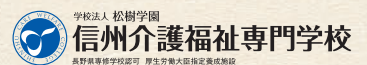
〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1295
TEL.0263-54-0012 <https://www.keijin-kai.jp/>

- 介護老人保健施設 まほろばの郷
- 介護老人保健施設 萌生の里
- グループホーム まほろば
- 介護医療院 添え木
- 塩尻市国民健康保険
楢川診療所（塩尻市指定管理） 他

学校法人 松樹学園



〒399-6301 長野県塩尻市賛川1215-2
TEL.0264-34-1023
<https://syoujuyu-g.ac.jp/reha/>



〒399-0733 長野県塩尻市大門三番町4-24
TEL.0263-87-0015
<https://syoujuyu-g.ac.jp/kaigo/>